

笑顔をつくる
ミライをつくる
信大病院

ハミング

NO. 94
2023.02

不妊治療の保険適応拡大について 患者満足度調査のご報告

科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition

第16回 食べていないのに痩せないを考える

ドイツ ドレスデン工科大学からの医学生3名が
信大病院で学んでいます

ご応募ありがとうございます! お写真のご紹介

「虹色の雲海と北アルプス」
撮影場所：高ボッチ高原
撮影：大槻 憲吾

不妊治療の保険適応拡大について

生殖医療センター 樋口 正太郎

晩婚化や不妊症の原因となる子宮内膜症の増加、男性の精子減少などにより、本邦では5組に1組は妊娠しづらい状態であると推定されています。このなかで卵管閉塞、高度乏精子症など自然妊娠が極めて難しい場合や原因不明の長期不妊症例などに対して、卵子と精子を体外で受精させて、受精卵（胚）を子宮内に戻す生殖補助医療（体外受精・顕微授精・胚移植など）がこのたび保険適応になります。体外受精により生まれる児は増加傾向であり、2019年時点で出生児全体の14人に1人に及びます。

いまや不妊治療において、体外受精-胚移植は欠かすことができない治療ですが、卵子の採取・受精・子宮内への移植といった一連の治療に保険が適応されていなかったため、1周期あたり約50万の費用がかかっていました。年齢などの条件を満たせば自治体から助成を受けることができましたが、日々の診療や薬剤にかかる医療費が高額なため、妊娠を諦める方も少なくありませんでした。その状況を改善するため、令和4年4月から、配偶者間人工授精に加えて、体外受精関連の検査や一連の治療（体外受精または顕微授精、胚培養、胚凍結、胚移植）が保険適応となりました。自費から保険への変更点・注意点について、2点お知らせしたいと思います。

まず、体外受精などの生殖補助医療には年齢と胚移植回数に制限があります。治療開始時で43歳未満の女性が対象であり、40歳未満では通算6回、40歳以上43歳未満では通算3回の胚移植を保険で受けることができます。上記の範囲内で妊娠成立しなかった場合、以降の治療はすべて自費診療になります。次に、現時点で保険診療として

認められていない先進的な医療技術に関して施設認定を受けていれば保険診療と並行して受けることができますが、先進医療分は自己負担（10割負担）となります。当院では妊娠率の高い受精卵を見極めるための培養器や着床側の原因検索のための検査などの施設認定を受けています。保険での移植回数が限られているため、できる限り良好な胚を適切に胚移植し、妊娠率を高める努力をしています。

体外受精は有効性が高い治療ですが女性年齢が高い場合は卵子の特性により治療効果が低く、妊娠時の合併症が増加する問題点もあります。メリット・デメリットを評価しつつ、ご夫婦に合った治療を提供していきたいと考えています。また、長野県では前述の体外受精関連の先進医療や拳児を希望される方のスクリーニング検査（妊活検診）、不育症などに対して、助成を受けることができます。詳細は「妊活ながの」で検索または当院スタッフにお尋ねください。



科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition

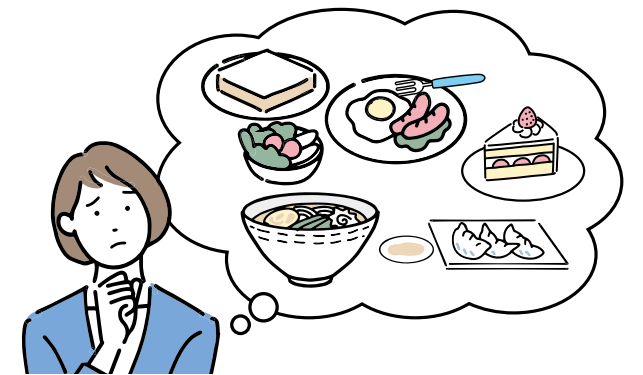
第16回 食べていないのに痩せないを考える

管理栄養士 高岡 友哉

ここで質問です。昨日食べたり、飲んだりしたものとその量を思い出してください。正確に思い出せる場合とそうでない場合があったと思います。次にここ1ヶ月間に各食品（例えば普通牛乳や鶏肉）をどのくらいの頻度（3日に1回など）で食べたり、飲んだりしたか思い出せますか？ここまできると流石に難しいと思います。

1. 食べたものを測る

これだけしか食べていないのに、痩せない!と思ったことはないでしょうか？ここで重要なのは自分がどのくらい食べていたか、という事実を知ることです。食べたものを調べる方法が食事調査です。この方法には、複数日の食べたものを全て記録または思い出して評価するもの（食事記録法<DR>、食事思い出し法）と、習慣的な摂取頻度量で評価する方法（食物摂取頻度調査法<FFQ>、食事歴法）が代表的です。食事調査で重要なことは正確に摂取量を測定できたのかという点です。

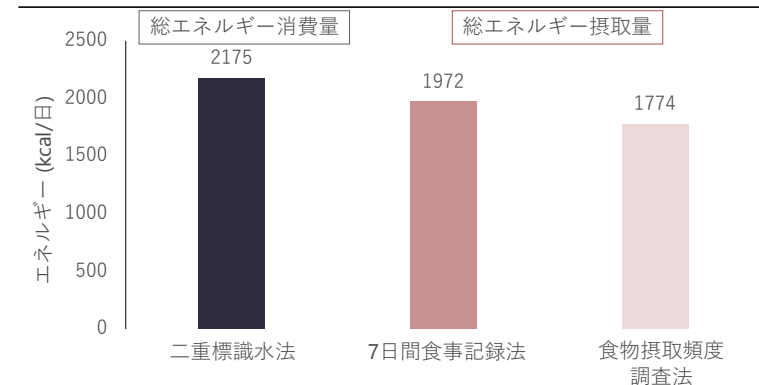


2. エネルギー摂取量と消費量から正確に測れたかを調べる

摂取したエネルギー量が消費したエネルギー量より少なければ体内に蓄えられているエネルギーを消費して不足分を補うため体重が減ります（痩せる）。痩せない場合は摂取量と消費量が同じ状態です。日常生活の総エネルギー消費量を測定する方法は二重標識水（DLW）法が代表的です。この方法は放射性を持たない水素と酸素の安定同位体である²Hと¹⁸Oを自然界に存在する比率よりも多く含む水（DLW）を飲み、尿を採

取することで約2週間の総エネルギー消費量を評価できる方法です。図1に日本の65歳以上の男女を対象にしたDLW法による総エネルギー消費量と7日間のDRとFFQによる総エネルギー摂取量の研究結果を示しました¹⁾。この研究ではDLW法と比べてDRで約10%、FFQで約20%少なく見積もっていました。多くの研究でもDLW法と比べて食事調査による評価では10-30%程度は少なく見積もるようです²⁾。

図. エネルギー摂取量は少なく見積もる



京都亀岡市に在住の65歳以上の高齢者109人（男性50人、女性59人）を対象にした研究。総エネルギー消費量は二重標識水法、総エネルギー摂取量は連続した7日間の食事記録法（平日と休日含む）と47項目の食物摂取頻度調査法による推定しています。結果は平均値で示しました。（参考文献1）

3. 人間は食べたものを忘れる生き物です

ぼくたちは食べたものを少な目に覚えているようです。食べていないのに痩せない!にも理由があります。エネルギーの消費量は個人によって大きく変わります。どのくらい1日にエネルギーを消費しているかを測るにはDLW法が最適ですが、お金と特殊な測定機器が必要

です。DLW法は体に害を与えず安全に行える手法のため、できるチャンスがあればぜひ試してみてください。

参考文献

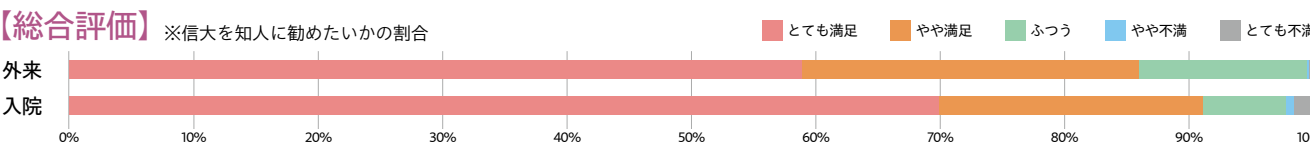
1. Watanabe D, et al. Nutrients. 2019;11:1546.
2. Livingstone MB, et al. J Nutr. 2003;133:895S-920S.

2022年度患者満足度調査結果のご報告

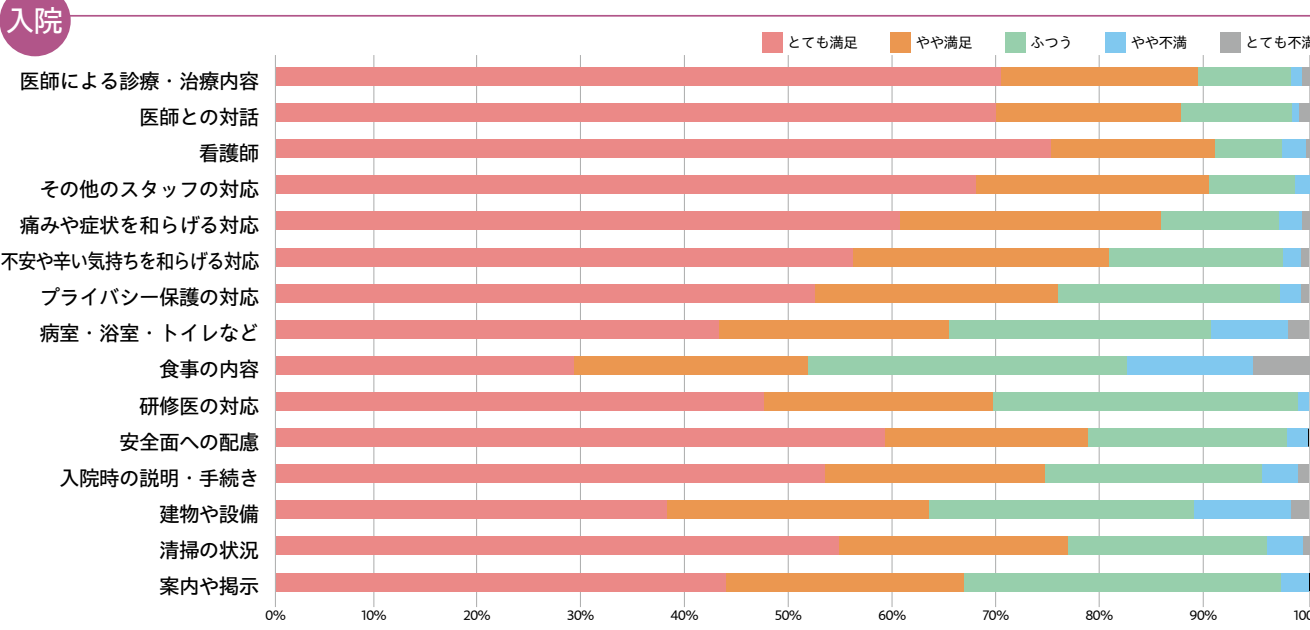
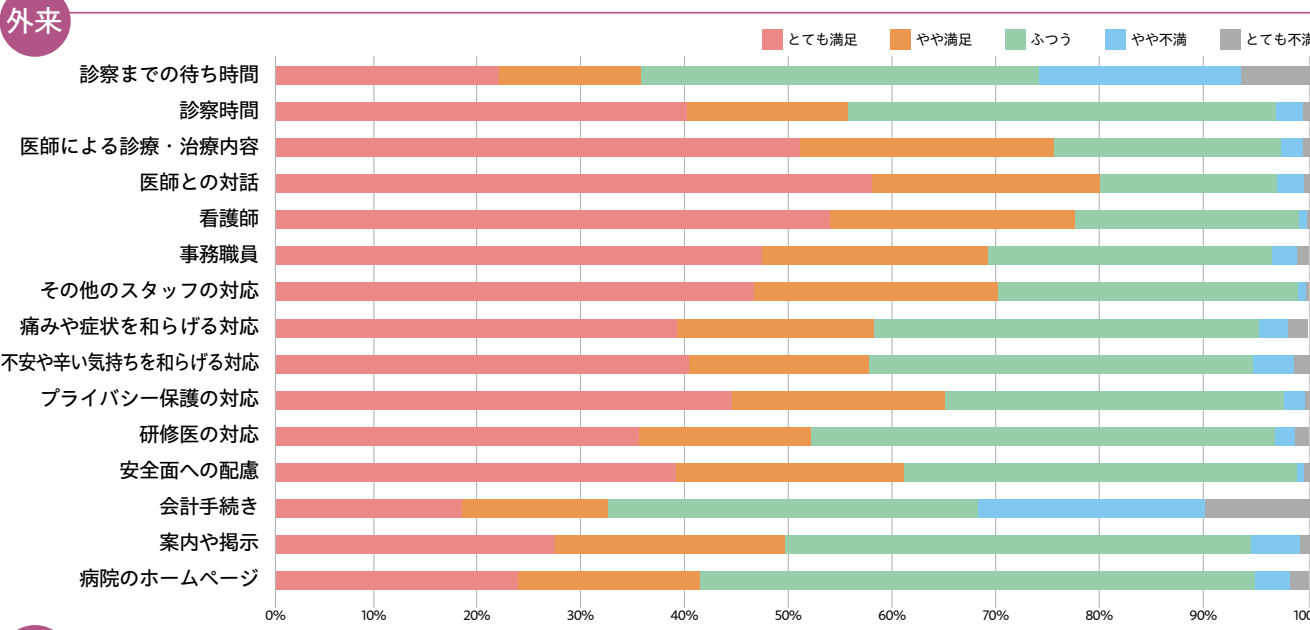
環境整備・患者サービス小委員会 委員長 内田 緑

2022年9月に外来ならびに入院中の患者さんを対象に「患者満足度調査」を実施いたしました。調査にご協力をいただきました皆さまにあらためてお礼を申し上げますとともに、ここに調査結果の概要をご報告いたします。昨年に引き続き、今回の調査でも多くの激励のメッセージまた心温まるお言葉をいただき、私たち病院職員にとって励みとなりました。今後も皆さまに信頼され、安心そして満足いただけるより良い病院づくりに取り組んでまいります。

調査報告

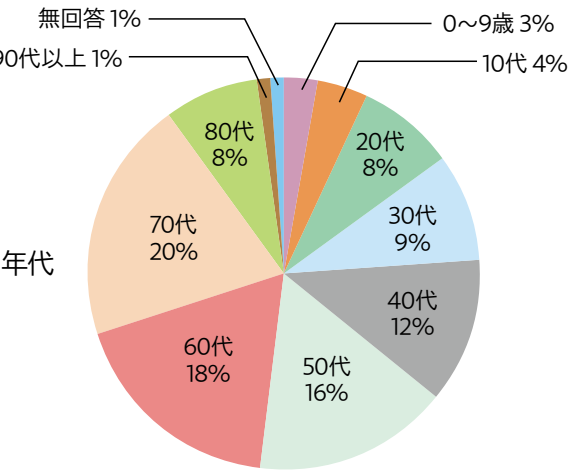


【個別の評価】

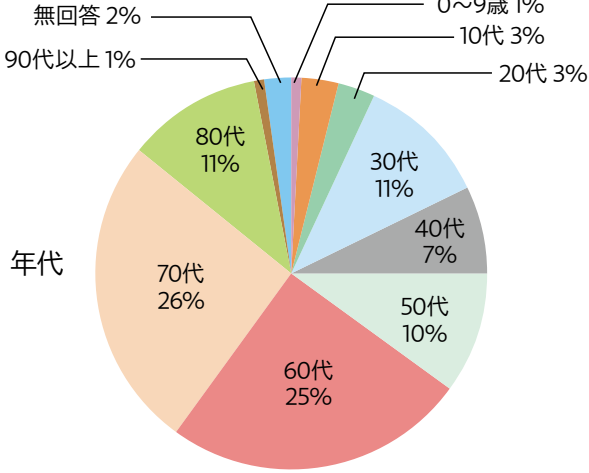


【調査概要】

外来 調査日：2022年9月14日(水)・15日(木)
回収数：633枚

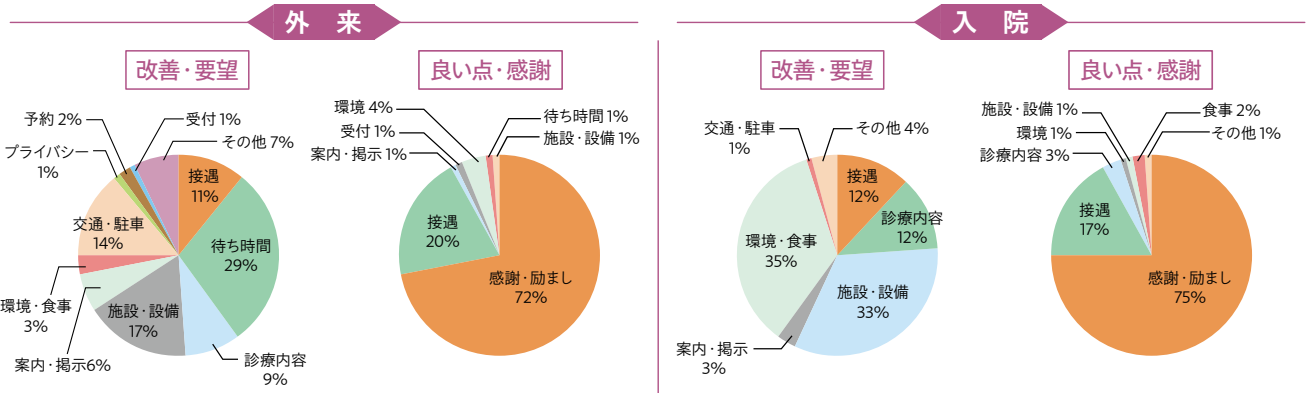
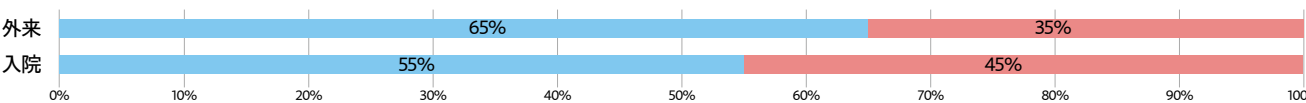


入院 調査日：2022年9月12日(月)～16日(金)
回収数：295枚



【自由記載について】

外来の調査では216件、入院の調査では330件のご意見を頂きました。



改善への要望(一部抜粋)

- 外来
- 駐車場の混雑と案内の分かりにくさに不満
 - 座る場所が少ない(採血室、待合室、バス停等)
 - 待ち時間が長くて疲れてしまう(特に会計)
- 入院
- 工事の騒音、室温が暑すぎ・寒すぎることがあり不満
 - 食事で似たようなメニューを改善して欲しい
 - 入院当初に病気の説明を詳しくして欲しい

お褒めの言葉(一部抜粋)

- 外来
- 院内がどこもきれいで気持ちがいい
 - 対応や説明がとても丁寧で親切なため安心できる
 - コロナで大変な状況の中、いつもありがとうございます
- 入院
- 話せる人が限られる中でほんの一言の声掛けが嬉しい
 - 親切な対応で安心して入院出来た
 - 職員の挨拶が良くて明るく過ごせる

【結果全体について】

総合的な満足度として外来では86%、入院では91%と、昨年に続き高い水準を維持することが出来ました。一方で、外来では「診察や会計の待ち時間」「案内・掲示・ホームページ」の項目、入院では「食事」「建物・設備」「案内や掲示」の項目について満足度が低めの結果となりました。皆さまからいただいたご意見をもとに患者さんに向けた情報提供や、分かりやすく丁寧な説明・案内の発信を心がけて参りますので、よろしくお願いいたします。

ドイツドレスデン工科大学からの 医学生3名が信大病院で学んでいます

医学部 国際交流推進室 田中 直樹

ドレスデンはドイツの東端、チェコとの国境の近く、人口約55万の美しい都市です。2016年に本学医学部はドレスデン工科大学 (TUD) 医学部との協定を締結しましたが、新型コロナウイルス感染症により医学生の往来が途絶えていました。入国制限緩和に伴い、昨年11月にTUDから医学生3名が来日し、本院での臨床実習を始めました。Belinda Marquartさん、Klaas Bahnsenさん(ともに消化器・移植・小児外科)、Marc Elserさん(形成外科)です。彼らには信大病院の優れた点を沢山学んでもらい、TUDと本院との連携の担い手になってほしいと願っています。



左から、
Klaas Bahnsenさん、
Belinda Marquartさん、
中沢洋三教授(小児科)、
Marc Elserさん、田中



左から、
副島雄二教授、
Belinda Marquartさん、
Klaas Bahnsenさん、
増田雄一准教授(消化器外科)



左から、杠俊介教授、
Marc Elserさん(形成外科)

ご応募ありがとうございます！ お写真のご紹介

「空の散歩へ」

山本早織さんよりご応募いただきました。
素敵なお写真をお送りいただき、ありがとうございました。



「信大病院支援事業」へのご寄附のお願い

本院は、大学病院としての機能を最大限に活かし、高度な臨床研究の成果を世界に発信するとともに、最先端医療の推進に努めてまいりました。

将来にわたり、地域の皆様に安全で質の高い医療を提供し続けながら、安定した運営を行うため、私達の事業にご賛同いただけましたら幸いです。

詳細は病院HPをご覧ください。▶



電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号：35-4600

■ 医事課

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

■ 医療支援課

外来予約センター	37-3500
患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762

■ 患者サポートセンター

総合医療相談室	37-3370
医療や治療についての相談	37-3370
がん相談	37-3045
移植に関する相談	37-2930
医療福祉相談	37-3370
こころの相談	37-3370
セカンドオピニオン外来受付	37-3111
栄養相談	37-2764
薬の相談	37-3013
医事相談	37-2762

地域医療連携支援室	37-3370
くすりの相談室	37-3013
高度救急救命センター	37-2222
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220
肝疾患診療相談センター	37-2922
生殖医療センター	37-3106

相談窓口

受付時間：月～金(祝除く)
9時～16時

編集後記

「少子化」が世間で注目された1990年から30年が経ち、2022年は出生数が過去最少となる見込み(12月時点)と厚労省が発表しました。その一方で、不妊治療の技術は進み、治療を望む方々の選択肢が拡大していることは、とても喜ばしいことと感じています。

今年度は海外情勢や感染症の影響など、不安の増すニュースが多かったイメージですが、来年度は良いニュースが増えることを期待しています。

広報企画室 寺口 裕一

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
byouin_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp
へお送りください。

写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】 信州大学医学部附属病院 総務課
総務係 TEL: 0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付

